

インターンシップ事前安全講習会報告～兵庫県立兵庫工業高等学校～

令和3年10月27日（水）に兵庫県立兵庫工業高等学校にてインターンシップ事前安全講習会を青年部会4名、親会より藤井経営委員長・高坂専務理事の総勢6名で行いました。

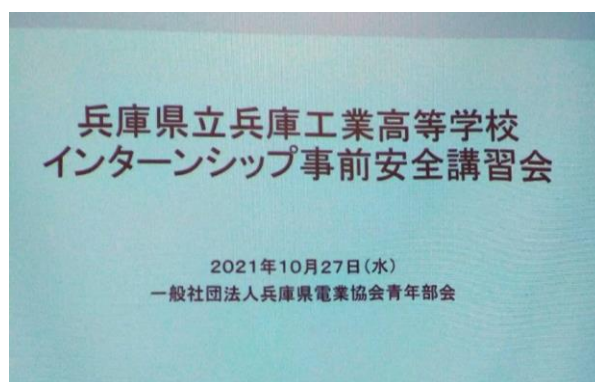
本年もコロナ感染拡大防止の観点より、青年部側の出席者数を減らし、マスク着用徹底や密にならない配置を学校側と協議し、対策を行った上での開催としました。

事前安全講習会は、各企業での就業体験で建築現場などを訪問することもあり、そのための注意事項や安全講習を電気科の生徒を対象として毎年行っております。また、電気工事業に少しでも理解を深めってもらうための説明も行っています。

当日の講習会では、校長先生より挨拶、講師の紹介、また生徒代表による挨拶がありました。電業協会からは藤井委員長の挨拶の後、西部電気建設㈱の尾崎氏より講習を行いました。



講師 西部電気建設㈱ 尾崎氏



講習会風景

現場作業にかかわる安全事項等についてのビデオ上映をし、現場での事故がどのような要因で発生するのかの安全講習が行われました。実際の事故の状況からそれに対する安全対策、また危険性の説明、また作業前の打合せの大切さを伝え、安全に作業を行うための環境作りをすることの重要性の説明をしました。また、電気工事業について業界紹介の動画上映と説明を行い、リアルな電気工事業界について、生徒に認識して頂く良い機会になりました。

講習後は、座談会方式での質疑応答の時間を設け、電業協会1名と生徒8名程度の4グループに分かれて行いました。生徒からの率直な質問も受け付け、電気工事業界に興味を持つ契機にすることが出来たかと思えます。電気工事業のみならず生徒の皆さんがどのような業界に興味があるのか、また電気工事業界にどんな印象を持っているのか、生の声が聴ける機会は我々にとっても非常に貴重な機会となりました。



座談会風景

また、生徒側からは、社会人になる前に考えるべきこと、準備することについての質問が多かったような印象を受けました。我々が平素持っている「給与よりも休暇を重視する」という印象と、実際の生徒の皆さんが考えていることが少し違うということも知ることが出来ました。若年者雇用促進のヒントになることと思えます。座談会開催自体は学校側からも好評頂いており、次年度以降も継続していきたいと考えております。

閉会の挨拶では、山口青年部会長より挨拶をし、生徒代表からインターンシップ事前安全講習会のお礼を述べて頂きました。生徒の皆さん、先生方と有意義な時間を共有できた事は私達にとって大きな成果でした。これからも青年部会の事業として、さらに内容を充実させていきたいと思えます。



山口青年部会長 閉会挨拶